



※※2012年4月改訂(第11版、製造販売元の社名変更に伴う改訂)  
 ※2009年10月改訂

■貯法■：遮光・室温・気密容器保存  
 ■使用期限■：製造後3年(外装に表示の使用期限内に使用すること)

日本標準商品分類番号	872239
承認番号	21900AMX00175000
薬価収載	2007年6月
販売開始	2007年6月
効能追加	1994年3月

※ 気道潤滑去痰剤

# アンブロキシール塩酸塩錠 15mg「タイヨー」

## AMBROXOL HYDROCHLORIDE

(アンブロキシール塩酸塩錠)

### ■禁忌(次の患者には投与しないこと)■

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

### ■組成・性状■

#### 1. 組成

アンブロキシール塩酸塩錠15mg「タイヨー」は、1錠中に下記の成分・分量を含有する製剤である。

アンブロキシール塩酸塩……………15mg  
 添加物として、結晶セルロース、ステアリン酸マグネシウム、乳糖水和物、ヒドロキシプロピルセルロースを含有する。

#### 2. 製剤の性状

アンブロキシール塩酸塩錠15mg「タイヨー」は、白色の片面1/2割線入り素錠で、においはなく、わずかに特異な味がある。

外形(サイズ)	表(直径mm)	裏(重量mg)	断面(厚さmm)
	7.0	120	2.3
※※ 識別コード(PTP)	t 291		

### ■効能・効果■

○下記疾患の去痰

急性気管支炎、気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核、塵肺症、手術後の喀痰咯出困難

○慢性副鼻腔炎の排膿

### ■用法・用量■

通常、成人には、1回1錠(アンブロキシール塩酸塩として15.0mg)を1日3回経口投与する。

なお、年齢・症状により適宜増減する。

### ■使用上の注意■

#### 1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

(1) 重大な副作用(頻度不明)

1) ショック、アナフィラキシー様症状：ショック、アナフィラキシー様症状(発疹、顔面浮腫、呼吸困難、血圧低下等)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。

2) 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)：皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

以下のような副作用があらわれた場合には、症状に応じて適切な処置を行うこと。

	頻度不明
消化器	胃不快感、胃痛、腹部膨満感、腹痛、下痢、嘔気、嘔吐、便秘、食思不振、消化不良(胃部膨満感、胸やけ等)
過敏症 <sup>注)</sup>	発疹、蕁麻疹、蕁麻疹様紅斑、痒疹、血管浮腫(顔面浮腫、眼瞼浮腫、口唇浮腫等)
肝臓	肝機能障害(AST(GOT)上昇、ALT(GPT)上昇等)
その他	口内しびれ感、上肢のしびれ感、めまい

注) このような症状があらわれた場合には、投与を中止すること。

#### 2. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。



4 987086501354

### 3. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

- (1) 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。[妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。]
- (2) 授乳中の婦人には本剤投与中は授乳を避けさせること。[動物実験(ラット)で母乳中へ移行することが報告されている。]

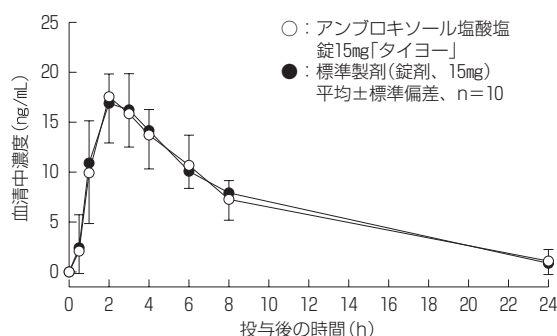
### 4. 適用上の注意

**薬剤交付時：**PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること。(PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔をおこして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている)

## ■ 薬物動態 ■

#### 1. 生物学的同等性試験<sup>1)</sup>

アンブロキシール塩酸塩錠15mg「タイヨー」と標準製剤を、クロスオーバー法によりそれぞれ1錠(アンブロキシール塩酸塩として15mg)健康成人男子に絶食単回経口投与して血清中未変化体濃度を測定し、得られた薬物動態パラメータ(AUC、Cmax)について統計解析を行った結果、両剤の生物学的同等性が確認された。



薬物動態パラメータ (平均±標準偏差、n=10)

	投与量 (mg)	AUC <sub>0-24</sub> (ng·h/mL)	Cmax (ng/mL)	Tmax (h)	T <sub>1/2</sub> (h)
アンブロキシール塩酸塩錠15mg「タイヨー」	15	158.0±34.9	18.1±2.4	2.3±0.7	6.0±2.4
標準製剤(錠剤、15mg)	15	162.2±19.8	18.0±3.7	2.4±0.8	6.3±2.1

血清中濃度並びにAUC、Cmax等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。

#### 2. 溶出性<sup>2)</sup>

本剤の溶出性は、日本薬局方外医薬品規格第3部に定められた規格に適合していることが確認されている。

## ■ 薬効薬理 ■

アンブロキシール塩酸塩は、肺胞細胞からの表面活性物質の産生を促進し、喀痰中の粘性線維の増加を示す。その結果、気道壁をおおう粘液の潤滑性が増大し、喀出を容易にすると考えられている<sup>3)</sup>。

## ■ 有効成分に関する理化学的知見 ■

一般名：Ambroxol Hydrochloride

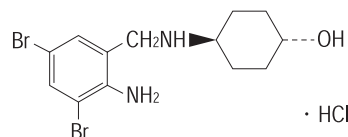
アンブロキシール塩酸塩

化学名：*trans*-4-[(2-Amino-3,5-dibromobenzyl)amino] cyclohexanol hydrochloride

分子式：C<sub>13</sub>H<sub>18</sub>Br<sub>2</sub>N<sub>2</sub>O·HCl

分子量：414.56

構造式：



融点：約235℃(分解)

性状：アンブロキシール塩酸塩は白色の結晶性の粉末で、においはなく、わずかに特異な味がある。メタノールにやや溶けやすく、水又はエタノール(99.5)にやや溶けにくく、酢酸(100)に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

## ■ 取扱い上の注意 ■

安定性試験結果の概要<sup>4)</sup>

加速試験(40℃、相対湿度75%、6カ月)の結果、アンブロキシール塩酸塩錠15mg「タイヨー」は通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。

■ 包 装 ■

100錠 (PTP10錠×10)、1,200錠 (PTP10錠×120)

■ 主 要 文 献 ■

- 1) テバ製薬(株)社内資料(生物学的同等性試験)
- 2) テバ製薬(株)社内資料(溶出試験)
- 3) 福地：診断と治療,5,1107,1991
- 4) テバ製薬(株)社内資料(安定性試験)

■ 文 献 請 求 先 ■

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。

株式会社三和化学研究所 コンタクトセンター  
〒461-8631 名古屋市東区東外堀町35番地  
TEL 0120-19-8130 FAX (052)950-1305

